

令和6年12月12日(木)

幼児教育と小学校教育の接続期カリキュラム コンサルテーション事業についての実践報告

福知山市立昭和小学校 教諭 西村 聖
福知山市立昭和幼稚園 教頭 大木 有加
福知山市教育委員会 指導主事 赤井 暁子



はじめに

令和5年度以前の昭和小学校の幼小接続の状況

スタートカリキュラムは作成済み だけれど...

幼児教育での学びや育ちが繋がっている？

校内の教員や幼児教育施設と共有できている？

1年生はおとなしく座っているよい子たち

子どもの育ちを見る教師の視点は、これでよいのか？

子どもたちは、生き生きと自分の力を発揮できているのか？

本当に1年生らしい姿とは...



はじめに

研究のゴールとして目指す姿

安心して登校できる

**幼児教育での学びや育ちを生かして
学習に取り組める**

新しいことに進んでチャレンジできる



自分で考え、行動することができる

【子ども】

【教員】

**子どもの育ちを見取る
目がある**



**意欲や気付きを
引き出す環境づくりができる**

合科的・関連的な授業づくりができる

**子どもの幼児教育での学びや育ちを
生かして指導できる**

**学びの援助者として
子どもに関わることができる**



～報告の流れ～

- 1 令和5年度の研究のあゆみ
～幼児教育から学んだこと・つながり方の工夫～
- 2 令和6年度の挑戦
～スタートカリキュラム・環境の工夫～
- 3 まとめ



令和5年度の研究のあゆみ

6月27日 幼保こ小架け橋ミーティング【22の関係園より25名】

8月24日 幼小合同研修会【昭和幼稚園・昭和小学校教職員】

南陵ブロック夏季研修会【中学校ブロック内の幼・小・中の教職員】

10月6・10日 幼小交流①「運動会練習を通じた交流」【1・2年・昭和幼稚園3・4・5歳児】

11月22日 昭和幼稚園公開保育【5歳児】

11月24日 楊梅幼稚園・下京雅小学校研究会【昭和幼稚園1名・昭和小学校3名】

11月30日 幼小交流②「交流遠足」【1年・昭和幼稚園4・5歳児】

12月19日 幼小交流③「手作りおもちゃで遊ぼう」【2年・昭和幼稚園4・5歳児】

2月 2日 入学説明会に向けた事前学習【5年・昭和幼稚園教頭】

2月 6日 入学説明会・学習体験【5年・R6年度入学予定児童・保護者】

3月 8日 幼小交流④「給食体験」【5年・昭和幼稚園5歳児】



<その他>

幼小交流に係る事前打ち合わせ・振り返り(適宜)

幼保こ小連携通信「かけはし」の発行・関係園への送付(適宜)



令和5年度の研究のあゆみ

幼小交流計画書

【日時】 10月 6日(金) 3校時(10:35~11:00) ※予定
 【内容】 運動会練習を通じた交流①

幼稚園 (対象: 3~5歳児)		小学校 (対象: 1・2年生)
<ul style="list-style-type: none"> 一生懸命練習に取り組む児童の姿を見て、憧れの気持ちを持つ。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 園児の前で運動会練習の成果を発揮することで、身近な人々と関わるよさや楽しさを感じる。
<ul style="list-style-type: none"> (・ いっしょに「昭和体操」に取り組む。) 小学生の表現運動を見学する。 	主な活動	<ul style="list-style-type: none"> 準備体操として、「昭和体操」に取り組む。 表現運動の見所を言葉で伝える。 表現運動を披露する。
<ul style="list-style-type: none"> 児童の姿や動きをじっと見る。 知っている人がいないか、探す。 真似して踊ってみる。 	想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> 「かっこいい姿を見せたい!」と張り切って踊る。 「特にがんばっている場面を伝えたい!」、「ここを見てほしい!」という思いを持っている。
<p>⑧数量・図形、文字等への関心・感覚</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園と小学校の人数の多い少ないがある。 校庭と園庭の広さの違い。 自分たちより小学生の背が高い。 隊形移動の際に、○や□などの形を見つける。 小学生が移動の際に走るスピードが速い。 	子どもの育ちを見る視点 / 教科指導の視点	<p>生活科「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりする。 身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かる。 進んで触れ合い交流しようとする。
<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園とくらべて小学生の人数の多少に気付けるような言葉かけをする。 近くに行く等することで、小学生の背の高さを感じられるような機会を持つ。 隊形移動の際等に、○や□などの形に気付けるように言葉かけをする。 	環境構成	<ul style="list-style-type: none"> 園児が見学することを事前に伝え、意欲を高める。 園児に向けて話していることが伝わるように、分かりやすい言葉を使い、できるだけ近い距離で話す。 園児の感想を伝えることで、交流することのよさを感じられるようにする。

<幼児期の終わりまでに育ってほしい姿>

①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え
 ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

これまでは…

これからは…
交流を通して



「交流すること」が目的に



「教師が互いの保育・教育を知る」

機会に



10月 運動会練習を通じた幼稚園との交流

小学生ってたくさんいるねえ。
みんなとどっちが多いかな？



だんだん…

小学生の方がぜったい多いよ！
100人はいると思うな。



仲間が増え…



数量・図形、文字等への関心・感覚



12月

幼稚園児と2年生の交流 (生活科「手作りおもちゃで遊ぼう」)

【2年生】

- 自分たちの作ったおもちゃで楽しく遊んでほしい。
- 遊び方も教えたい!

【園児】

- 楽しそう! さわってみたい!
- どんな風に遊べるかな?



ちゃんとしなくちゃ!

経験による差?

GAP

発達段階による違い?

自由に遊びたい!

「やってみたい!」が
十分試せる場であることが大切



1 令和5年度の研究のあゆみ

2月

入学説明会（令和6年度入学児童保護者対象）



2 昭和小学校が大切にしていること

(1) はじめに

これまでの学校

みんないっしょ…

画一化・正解主義

「正しい答え」を求め、「みんながわかる」ように教える。

➔

これからの学校

一人一人ちがう…

それぞれのペースで自分に合った学びを
みんなで話し合ってお互いの解決を
自分で決めて、継続し続ける人に

個別指導で一人ひとりに
最適な学びを提供する子どもたち

これを実現するためには➔

2 昭和小学校が大切にしていること

(4) 保護者の皆様へのお願い

- 「遊び込む」経験を大切に**
お子さんは、どんなことに夢中になって取り組んでいますか？
- 自己決定の機会を大切に**
結果ではなく、自分で決めたこと、がんばろうとした過程を褒めてあげてください。
- いっしょに挑戦を**
これまでの「当たり前」にとらわれず、よりよい方法・持続可能な取組をいっしょに考えていきましょう。

2 昭和小学校が大切にしていること

(2) 幼児教育と小学校教育の接続

【京都府教育委員会研究指定】
幼児教育と小学校教育の接続期カリキュラムコンサルテーション事業 推進校 (R5.4からR2年間)

これまで

幼稚園 → 小学校入学

幼稚園と小学校生活に大きなギャップがあり、園で積み上げた力を十分に発揮できていなかった。

接続期

これから

幼稚園 → 小学校入学

幼稚園から小学校生活へスムーズに慣れるための準備期間を設け、幼児教育と小学校教育の接続期カリキュラムを実施し、園で積み上げた力を十分に発揮できるようにしていきます。

2 昭和小学校が大切にしていること

(3) 令和6年度の新たな試み

① 学級編成の工夫

② 複数の教員で、学年全体の児童の様子を見ます。

	入学式(4月10日)	4月中	5月上旬
1年生	仮クラス発表	仮クラス期間	クラス発表 学級単位での活動
教員	担任チーム発表	担任チームでの指導 学級編成会議(園との連携)	担任チームでの指導 学級担任による指導

2 昭和小学校が大切にしていること

(3) 令和6年度の新たな試み

② 教育課程の工夫

- ゆるやかなスタート**
4月中は、4時間授業を基本とします。
学習参観や個人懇話は5月に実施を予定しています。
- 「遊び」→「学び」を意識したカリキュラム**
幼児教育で育んだ力をもとに、ゆるやかに教科指導へと移行していきます。
児童の気付きや「やってみよう」を大切にしながら学習を進めます。

保護者への説明

2月 入学説明会の裏で…



【第1部 教室でやってみよう!】

①みんなで声を出そう
「これは何かな?」



まずは、緊張をほくすため、声を出したり、体を動かしたりする内容を考えました。絵カードを示し、「これは何かな?」と問いかけ、教師が答えの文字を黒板に書きます。そして、文字の数だけ手を叩きながらみんなで読み上げ、「絵・文字・音」の3つが一致するように確かめました。みんなの手拍子の音や声がそろうと、不思議と楽しい気持ちになってきます。本校では入学後もこのような学習を積み上げ、言葉について正しく理解できるようにしています。



楽しい

ペアの5年生も隔で
いっしょにやってみました。

安心

②えんぴつでかいてみよう
「何がかきたい?」



安心

一人ずつに鉛筆一本と用紙を一枚準備し、「かきたいものをかいてみよう!」と投げかけました。絵を描く子もいれば、「自分の名前を書いてみたい!」という子も、「こんなものがかいてみたいんだけど…」と困っている子には、ペアの5年生がやさしくサポートしていました。

【第2部 学校を探検しよう!】

園より広い学校には、見たこともない不思議なものがいっぱいあります。ペアの5年生が地図を見せながら「どこに行ってみたい?」と新1年生に尋ね、学校を自由に探検しました。

どこに行きたい?



足し算できるの?すごいね!



これは2年生が作ったおもちゃだよ。

安心



うれしい



「できないこと」ではなく、「できること」に目を向けることで関わり方が大きく変わることを5年生も私たち教師も実感した一日でした。この気持ちを4月からの教育課程に生かしていきます。

「図書室」ではおすすめの本を紹介

楽しい

わくわく

「音楽室」では楽器の演奏ができる

「図工室」では不思議な実験器具が並び理科室



学習体験



2月 入学説明会に向けて…

ねらいは？

一石二鳥・三鳥をねらって

取組を見直す

→ 取り組み方を見直す

1 園児は今、どんな気持ち？迎える側の準備は？

これまでの学習体験では、「鉛筆の持ち方」「返事や発表の仕方」「椅子に座る正しい姿勢」など小学校教員が入学前の園児に体験させたいことを中心に内容を考えていました。しかし、「園児が本当に楽しみにしていることってなんだろう？」「今、園ではどんな準備をしているのかな？」と考えた時、果たしてこのままでよいのだろうかという思いを抱きました。そこで、昭和幼稚園の大木教頭先生に依頼し、園児の今の声を直接届けていただくことにしました。お話を聞いたのは、学習体験で園児といっしょに活動する5年生です。



大木教頭先生のお話

園児は今…

「漢字や算数の勉強が楽しみ！」
「新しい友達できるかな？」
「早くランドセル背負いたい！」

「学校って広いよ。どこに何があるんだろう？迷子にならないかなあ。」

わくわく

ときどき

園での生活を通して…

入園した頃はできないことが多かった。自分の気持ちがうまく伝えられずにけんかになることも…。でも、生活の中で少しずつできることを増やしていき自信やうれしい気持ちをいっぱい増やしている。今では園のお兄さん・お姉さんとして「さすが！すごいね！」と褒められる存在。

「できることが増える」→「自信・うれしさにつながる」

次年度を見越して

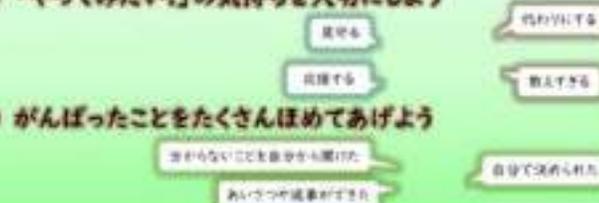
専門性を生かして



【新1年生への園児からのポイント】

- ① 「やってみよう」の気持ちを大切にしよう
- ② がんばったことをたくさんほめてあげよう

すごい！ やったね！
やったー 楽しみ♪
できた！ うれしい
そんなこともできるの！？ えらいなあ。



【新1年生に早く会いたいな】5年生の感想】

- やってみようとする姿を応援して、たくさんほめてあげたいです。
- 「学校って楽しいよ。」ということを知りたいと思いました。
- できないことがあったらコツを教えて、自信をつけてあげたいです。

温かい気持ち で心の中がいっぱいになる

小学校生活のよいスタートに

1 令和5年度の研究のあゆみ

『できる』ようにするための仕掛けが大切
(時間にゆとりを・環境に工夫を)

1年生はほとんど自分で『できる』

まわりの関わり方が大切
(「できない」と決めつけ×→応援や賞賛○)

『やってみたい』という気持ちがいっぱい

管理・統制ベースの指導では、主体性は育ちにくい
(「気付き」・「考える」経験が「行動」につながる)



～報告の流れ～

1 令和5年度の研究のあゆみ
～幼児教育から学んだこと・つながり方の工夫～

2 令和6年度の挑戦
～スタートカリキュラム・環境の工夫～

3 まとめ



2 令和6年度の挑戦

4月10日 入学式【入学児童124名】

~4月中~ 仮学級(赤・緑・黄・青組)での生活・午前中授業(週20コマ)

4月24日 幼保こ小架け橋ミーティング【23の関係園より22名】

5月 2日 1年生を迎える会【全校児童】

5月 7日 新学級(1・2・3・4組に再編成)・通常時程での生活スタート(週25コマ)

6月20日 架け橋プログラムに係る授業公開【市教委主催・22名参加】

昭和幼稚園公開保育【5歳児 南陵ブロック幼・小・中教職員参加】

7月31日 校内研究会「接続期カリキュラムの実践報告」【校内の教職員】

8月26日 南陵ブロック夏季研修会【中学校ブロック内の幼・小・中の教職員】

9月18日 環境構成の工夫に係る研修(昭和幼稚園訪問)【校内研究チーム4名】

10月10・17日 幼小交流①「運動会練習を通じた交流」【1・2年・昭和幼稚園3・4・5歳児】

10月31日 幼小交流②「交流遠足」【1年・昭和幼稚園4・5歳児】

令和7年1月23日 昭和幼稚園公開保育【5歳児】



<その他>

幼小交流に係る事前打ち合わせ・振り返り(適宜)

幼保こ小連携通信「かけはし+」の発行・関係園への送付(適宜)

総合的な学習の時間(5年)における市内関係園との交流(年間)



そもそも、1年生はどこで、何につまずいていたのか？

<主な要因として考えられるもの>

①時間割にもとづいた集団行動



②新たな人間関係の構築



③生活の中心が「遊び」→「学習」へ



2 令和6年度の挑戦

令和6年度 福知山市立昭和小学校 スタートカリキュラム(様式1)

【4月 がっこうってのしいな】(キーワード:安心、興味・関心、発見、気付き)
 ・学校生活が安心して送れるようにする。
 → 1日の流れを提示し、見通しを持たせる。
 → 「おはようタイム」を設定し、心や体を解放してから生活がスタートできるようにする。
 → けとりのある時間設定で学習や活動を計画し、教師も児童も落ち着いて生活できるようにする。
 ・体験的な活動も多く取り入れ、学校施設や学習に**興味・関心**が持てるようにするとともに自分ですら**発見**する喜びを味わわせる。
 → 生活科を中核とした総合的・関連的な学習を進める。
 → 学校探検等の活動に「具象性」や「必要性」を取り入れる。
 (例:〇〇教室に行こう! → 学校を探検して〇〇を探そう!)
 ・学校生活のルールをすべて教えるのではなく、他学年や教師の行動から**気付かせる**ようにする。
 → 廊下の歩き方、あいさつの仕方、休み時間と学習時間の切り替えなど、前学年の様子に着眼点を出合わせることで、自分たちで学校生活のルールに**気付かせる**ようにする。

【5月 ともだちのことしりたいな】(キーワード:関わり、安心、言葉のやりとり)
 ・友達との**関わり合い**ながら取り組む活動も多く取り入れ、仲間づきよを進める。
 → 音楽科や体育科を中心に、遊びを取り入れた活動の中で友達関係が広がるようにする。
 ・教師や友達のこと、学校のことを詳しく知ること、**安心感**を持たせる。
 → 4月の経験をもとに、自信を持って他者と関わったり、学校生活を送ったりできるようにする。
 ・**言葉でのやりとり**を通してお互いのことをより深く理解し合えるようにする。
 → 国語科や算数科を中心に、自分の考えを伝え合う活動を通して、言葉でのやりとりを楽しませる。

自覚的な学び

学ぶという意識がある
 集中と休憩の
 区別がある

課題を自分のもの
 と受け止める

計画的に
 学習する

架け橋期の終わりに目指す姿

7月
 「できた!」
 がいっぱい!

6月
 どんどん
 チャレンジ

5月
 ともだちのこと
 しりたいな

4月
 がっこうって
 のしいな



【6月 どんどんチャレンジ】(キーワード:意欲、挑戦、試行錯誤)
 ・自分の役割を自覚したり、自信を持って取り組めることを見つかりだして、**意欲的に**学校生活を送れるようにする。
 → 当該活動を単体的に取り入れることで、自己有用感を感じる。
 ・これまでとは違う課題の提示をすることで、難しいことに**挑戦したい**という思いを持たせる。
 → 学習のめあての提示の仕方を工夫する。
 (例:「〇〇しよう」という活動の提示 → 「〇〇するにはどうしたらいいだろう」という思考の提示へ)
 ・環境構成や学習方法を工夫することで、**試行錯誤**しながら学習課題を解決できるようにする。
 → 国語工作科では、さまざまな材料から制作活動ができるようにしたり、手を使った活動をたくさん取り入れたりする。

【7月 「できた!」がいっぱい】(キーワード:工夫、集中、切り替え)
 ・**工夫**して学習することを楽しさや喜びを感じられるようにする。
 → 正活科で季節の特徴を基にした遊びを考える際、友達とさまざまなアイデアを出し合いながら楽しく遊びに取り組みできるようにする。
 ・やり進めるべき課題に**集中**して取り組めるようにする。
 → 時間や活動の見直しを促し、限られた時間の中で課題がやり進められるようにする。
 ・けじめのある学校生活を送り、学習と休み時間の**切り替え**が自分ですらできるようにする。
 → 自分の意思で活動の切り替えができることを前置させ、成長を感じさせる。



2 令和6年度の挑戦

これまでは…

幼児教育施設の主なスケジュール

登園		
自由遊び		
9:00～	朝の活動	歌・手遊び 予定の確認など
10:00～	保育活動	絵画・工作・運 動・歌唱など
11:30～	昼食	
12:30～	保育活動や自由遊び	
13:30～	降園準備	1日の振り返りなど
14:00頃	降園	



小学生に
なったんだから

小学校の主なスケジュール

早くしなさい!

8:10頃	登校	
8:30～	朝の会	健康観察・予定の確認
8:45～	1時間目	国語科
トイレ休憩(5分)		
9:35～	2時間目	算数科
10:20～	中間休み(20分)	
10:40～	3時間目	音楽科
トイレ休憩(5分)		
11:30～	4時間目	生活科
12:15～	給食	
12:55～	昼休み(20分)	
掃除・学習タイム		
13:35～	5時間目	国語科
下校準備		
14:55	下校	

なんでさっき
トイレ行かなかったの?

間に合わないから
手伝ってあげて



2 令和6年度の挑戦

これまでは…

- ・ 入学当初、急激なスケジュールの変化に対応できない子、戸惑う子が多い。
- ・ 教師が「みんな同じ」にしようとするほど、追い立てる指導になりがち。

学校が楽しくない…
~~安心~~



~~自信~~

先生が怖い…

~~やる気~~

~~期待~~



2 令和6年度の挑戦

そこで…

4月の学校行事(参観日・懇談など)は基本的に5月以降に

スタートカリキュラムの工夫

決まった時間の中で活動

活動に合わせて時間を設定

朝の会	おはようタイム
1時間目	
2時間目	がっこうたんけん
3時間目	
4時間目	
5時間目	国語科

あんしんタイム【安心を育む時間】

- ・みんなで歌を歌う(音楽科)
- ・声を出しながら文字について楽しく学ぶ(国語科)
- ・教師の読み聞かせを聞く(国語科)
- ・1日の予定を聞き、見通しをもつ(特別活動)

わくわくタイム【生活科を中心とした合科的・関連的な学習に取り組む時間】

(例)「がっこうたんけん」(生活科)の中で…

- ・教材の数を数える(算数科)
- ・特定の文字をさがす(国語科)

体験を通して数や文字への気付きを促す
(学びの芽生え)

きらきらタイム【自覚的な学びにつなげる時間】

- ・従来通り、1単位時間45分間で教科学習を行う
- ・集中と休憩の区別をつけながら学ぶ

朝の準備ができたたらほっと一息



わたしもいっしょに
やっていい?

いいよー

いっしょにな
らべてみよう!

保育園でやったこと
ある!

遊びの中で生まれる気付きや関わりを育む大切な時間



2 令和6年度の挑戦

あんしんタイム【安心を育む時間】



健康観察・予定の確認



昭和体操・ダンス



朝MIM



読み聞かせ

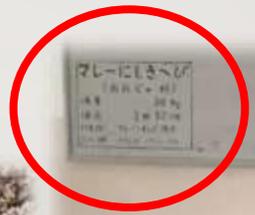


2 令和6年度の挑戦

わくわくタイム【生活科を中心とした合科的・関連的な学習に取り組む時間】



「すきなものをかこう」
(図画工作+国語)



「やすみじかんのすごしかた」
(生活+体育)

「もじたんけんたい」
(国語+生活)



2 令和6年度の挑戦

「がっこうたんけん」

4月24日

幼保こ小架け橋ミーティング（授業公開）

伝え合い・関わり合う 姿

このお部屋
なんだろう？



今度先生に開けてもらおう。

地図には、
「ずこうじゅんびしつ」って
書いてあるよ。

6年生ってどんなお勉強しているのかな？



お勉強中だから
静かに見よう。



楽しそうだね。

気づき・考え・行動 する姿



2 令和6年度の挑戦



4月24日 幼保こ小架け橋ミーティング（研究協議）

就学してからの環境の変化がゆるやかで、無理がない

楽しい学習の中で、社会性やコミュニケーション力を養うことができる

保育現場に比べて指示の声が大きく、単調に聞こえた

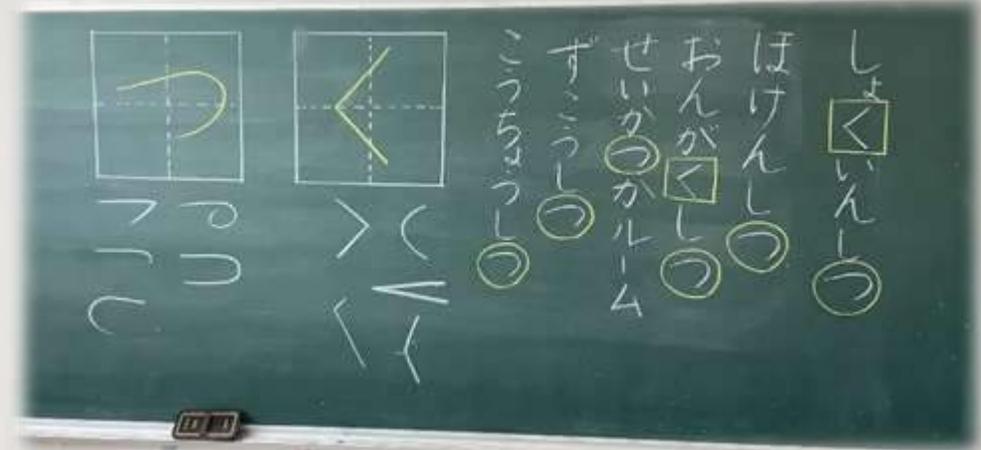
子どもたちがリラックスして楽しみながら、文字、数などを無理なく学んでいく姿に、こちらも笑顔になれた

子どもの目線に立った環境づくりが工夫されていた



2 令和6年度の挑戦

きらきらタイム【自覚的な学びにつなげる時間】



「かくことたのしいな」
(国語)

「えんぴつのもちかた・いろいろなせんをかこう」
(国語)



2 令和6年度の挑戦

「かくことたのしいな」



6月20日

架け橋プログラムに係る授業公開（市教委主催）

ひらがなの学習が進んでいるけれど、
なかなか正しい書き順が定着しない
なあ…（児童の実態）



アイデア①

書き順を意識できるように、友達と協力しながら
リレー形式で文字を書かせてみよう！

アイデア②

粘土で文字を作らせれば、重なり方を見ること
で、正しく定着していない子が分かるはず！



2 令和6年度の挑戦

6月20日

昭和幼稚園公開保育（5歳児）

保育参観は小学校教員にとって貴重な学びの機会

でも…

「何を」「どう見るのか」

分からない



- ①幼稚園から事前に公開保育の概要を聞き取り
- ②「参観の視点」を便りにまとめ、職員に周知
- ③保育参観の実施
- ④参観後の振り返り

教えて！幼児教育 保育のミカタ①

懐かしい人には懐かしいお便り「ミカタ」が2年ぶりに帰ってきました。（興味のある人は、昭和小に長くいる人に関いてください。興味のない人は新鮮な気持ちでお読みください。）このお便りは、学びたいみなさんの「味方」に、授業や保育の「見方」を知るきっかけになれば…との思いで作成しています。ぜひ一読いただけると幸いです。

さて、6月20日（木）にお隣の昭和幼稚園で、すみれ組（5歳児）の公開保育が行われます。せっかくの機会ですので、ぜひ以下の視点で参観し、学びを深めてください。

①環境構成の工夫

保育は、大きなねらい（ストーリー）の中で計画的に行われています。例えば、本時の主題は「鬼の衣装を作ろう」ですが、これは6月初旬に大江山の鬼の交流博物館に行った経験をもとに、園児の「やってみたい」「OOLたら楽しそう」という思いを先生が上手に引き出し、設定されています。

見学

表現遊び

衣装づくり

全、ココ

本時の活動では、「身近な材料を使って工夫しながら表現する」「互いに思いや考えを伝え合いながら、友達と一緒に活動を楽しむ」というねらいを達成するためのしかけがたくさん散りばめられています。

ポイント

- ・材料はどこに置いてあるか。
- ・活動隊形はどのようになっているか。
- ・集合隊形はどのようになっているか。 など

②学びの援助者としての教師の関わり方の工夫

保育参観の際は、園児の動きより先生の園児への関わり方に注目しましょう。にこにこ見守りながら、部屋中にアンテナを張り巡らせ、困っている子をスーパーマンのように助けたり、褒め言葉のシャワーを浴びせたりしておられます。

ポイント

- ・園児の気持ちに寄り添い、共感する様子。（すごいね、なるほど、そうなんだ）
- ・園児の思いや考えをどのように受け止めているか。
- ・活動に対する意欲を高めるためにどんな支援をしているか。 など

③配慮を要する幼児への関わり方

幼児教育施設にも、配慮が必要な子はいます。個々の課題に対してどのような支援をしているのかを見ることも大きな学びになります。

ポイント

- ・友達と関わりにくい子がいた時に、どのような援助をしているか。
- ・活動に向かいにくい子に、どのような言葉かけや援助をしているか。
- ・加配の先生とどのように連携しているか。 など

～報告の流れ～

1 令和5年度の研究のあゆみ
～幼児教育から学んだこと・つながり方の工夫～

2 令和6年度の挑戦
～スタートカリキュラム・環境の工夫～

3 まとめ



取組を通して見えてきたこと

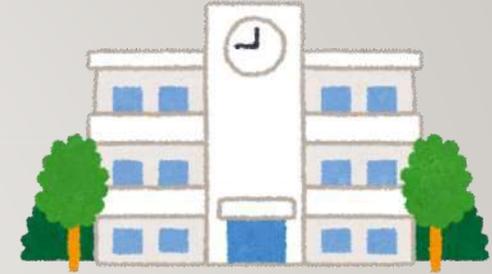


幼児教育施設

なんとなく「交流」しているだけでは



もったいない



小学校

子どもの育ちを
(大人の)子どもを見る視点を
生き生きと遊び、学ぶ環境を
カリキュラムを

つなぐ



- <教師の指導観の転換>
- **学びの援助者**として関わる
 - **環境**を工夫して育てる
 - **気付き**や**意欲**を引き出し、**育ち**に生かす

互いの教育を知り、学び合うために、**交流の仕方**を**工夫**することが大切





安心して登校できる

幼児教育での学びや育ちを生かして
学習に取り組める

新しいことに進んでチャレンジできる



自分で考え、行動することができる

【子ども】

活動に合わせたゆるやかな時間設定や
環境の工夫

→ スタートカリキュラムや学校の教育環境の工夫により、安心して学校生活を送ることができる。

教師の指導観の転換

→ 失敗やとまどいが寛容に受け止められ、子どもの安心につながる。幼児教育で培った力が発揮され、どんどん挑戦する子が育つ。

生活科を中心とした合科的・関連的な学習
の推進

→ 「主体的な体験や活動→気付き・思考→自覚的な学び」の流れを大切にした指導が、学びへの意欲や自信につながる。

ゆるやかゆえに、見通しがもちにくい子もいる

入学後の変化はできるだけ小さい方が安心につながる





幼児教育を「知る」機会の確保

- 子どもたちが「遊び」や「環境」を通して育ち、学ぶことを実感することが、授業改善につながる。
- 「学びの援助者」としての立ち居振る舞い・声のかけ方を学ぶことで、子どもへの関わり方が変わる。

カリキュラム・マネジメント能力の向上

- 合科的・関連的な授業づくりを繰り返すことで、子どもの目線で単元・授業づくりをする力が身に付く。

幼小交流をイベントにしない

- 「交流」を目的にせず、子ども・教師の学びの場とする。そのための事前・事後の打合せが学びをさらに深める。

「幼小接続」を全教員が自分事として捉え、関わる

【教員】

子どもの育ちを見取る
目がある



意欲や気付きを
引き出す環境づくりができる

合科的・関連的な授業づくりができる

子どもの幼児教育での学びや育ちを
生かして指導できる

学びの援助者として
子どもに関わることができる



おわりに

何をつなげるのかを明確に

子どもの育ち

幼児期の学び方

教師の関わり方

環境構成の工夫

これから何をどのよ
うに学んでいくか



どんな遊びや学びを
経験してきたか

一緒に考える

周知・共有

小学校

幼児教育施設

互いをよく知る = 信頼関係
互いに学び合う = リスペクト

よいよい幼小接続に...

